

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

KOZMOS

特集

ひと味がうレポート作成法
パソコンとおともだちになろう♥

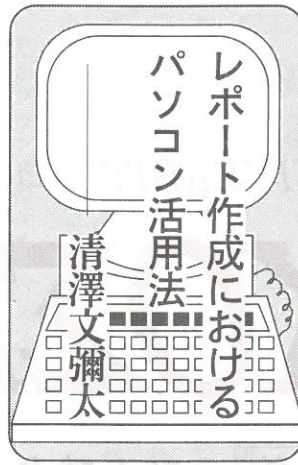


ペンネーム 鈍・騎砲帝さん画 (法学部)

特集

ひと味ちがうレポート作成法

パソコンとおともだちになろう♡



現在、パソコンはどんな分野においても使われ、もはや誰でもが使える道具となりつつあります。本学でもPC教室やワープロ教室が準備され自由に使える環境が作られています。学生諸君もレポートや論文の作成に、あるいは実験データの整理にパソコンを利用していても多いと思いますが、ここではスグレもののパソコンを未体験の人にパソコンを使ってレポートや論文を書くことの利便さ、手軽さ、易しさについて簡単に説明をします。

パソコンの活用というと、まず最初にワー

プロとして使うことが頭に浮かびます。ワープロが使われ始めたとき、最大の魅力は「美しい印字」でした。汚い字、書き殴った字、癖のある字など読みにくい文字で書かれたレポートは、読み手にとって最大の苦痛でありワープロを使って書かれたレポートに出会うとホッとしました。

しかし、ワープロの最大の目的は「美しい印字」ではありません。レポートにせよ論文にせよ文章を「書く」という行為は、頭の中で内容の大枠を考えて書き始めますが、その途中で、メモを取り、書き込みをしたり、書きながら論理の展開を練り直したり、表現を変更したり、不必要な部分を削除したり、といった作業を繰り返しながら内容を充実させ、最後に清書を行ない完成します。しかし、この作業は意外に大変で、清書の途中で考えが変わったりして、また清書をやり直したりと、手書きでレポー

トを作成した人は何度も経験したことでしょう。

この様に文章を作るということは、「挿入」「削除」「移動」「複写」「比較、参照」を繰り返し、最後に「清書」をするわけです。これらの作業をワープロで行なうと極めて簡単に、スムーズに、易しく、短時間で、効率よく文章を書くことができます。キーボードでの入力に抵抗のある人でも、最初は苦勞をするかも知れませんが、慣れるにしたがってワープロを放せなくなることは間違いありません。

実験データの整理にもパソコンは欠かせません。最近では測定器から直接パソコンにデータを取り込み、計算等の処理をしてCRT上にグラフで示したり、プリンタで出力したりと全く実験者の手を煩わせずにデータを処理できるソフトも作られています。一般的には、表計算ソフトと呼ばれる汎用

ソフトを使って、生のデータを入力すれば、計算等の処理をしてグラフや表が作成できます。これもワープロと同じで一度使いだすと手放せないソフトです。

レポートや論文作成に威力を発揮するのがパソコンによるデータベースの作成です。「データ」というと文献データや引用データを考えますが、自分がレポートや論文を書く時に参照したり引用する可能性のあるものすべてが「データ」です。過去に自分で書いたレポートも立派なデータの一つですし、アイデアもパソコンに入力しておけばデータとなります。これらのパソコンの中にあるデータを使って、パソコンでレポートや論文を作成すると非常に効率良く進みます。

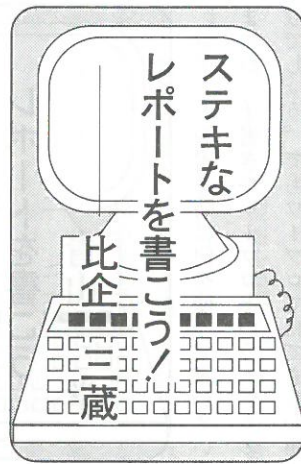
とにかくパソコンを使ったことのない人は、是非一度ワープロでレポートや手紙を書いてみて下さい。きっと虜になること請合いです。そしてレポートの評価も上がるでしょう。

☆

パソコンを使ったレポート作成の指南書の例としては

- ・ マッキントッシュによる人文系論文作法 中尾浩等著 夏目書房 一九九五
- ・ 二六〇〇円 (白山発注中)
- ・ 理工学系のためのマッキントッシュ 阿部寛著 講談社 一九九二
- ・ 二九〇〇円 (工学部発注中)

(きよさわ・ふみやた 工学部教授)



パソコンは何ができるのか。パソコンだけでは何もできない、「パソコンはただの箱である」と言う人もいる。では、どうしたらパソコンが活用できるのか。それには、様々なソフトを利用することである。

文章を書くには、ワープロソフトが必要であるし、計算をするには表計算ソフトが必要。図形を描くには図形ソフトが、世界や日本各地と通信を行うには通信ソフトが必要である。この様なソフトを用いて、パソコン

を活用するわけである。

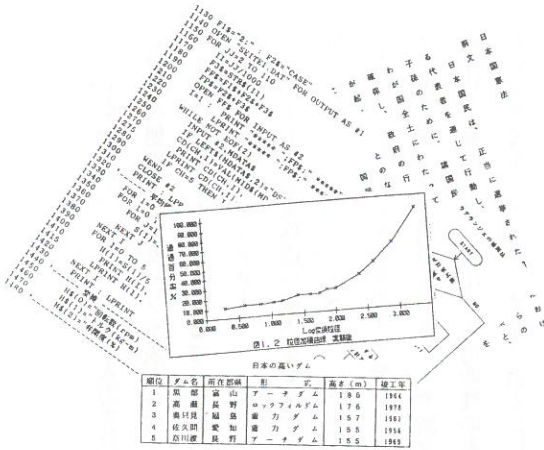
現在、この原稿もワープロソフトを用いて書いている。普段は横書きで印刷することが多いが、この原稿は縦書きで原稿用紙風に印刷を行った。私のように、字の下手な者にとっては、ワープロは手放せないものとなっている。

さて、パソコンの活用だが、卒論を取り上げて説明しよう。工学では、実験を行うことが多い。この実験データは、電圧に変換されて、データファイルとしてパソコンに取り入れられる。この電圧を、流量や水圧、バルブの開度などに再度変換するわけである。これらのデータは、計算や並び替えを行ったりして、最終的にはグラフとして表示される。グラフになったデータは、ワープロで作成した文章の間に入れる。

調査を行う卒論もある。例えば、下水道の普及率や人口などは、数値データとして公表されている。この様な数値データは、表計算ソフトを利用してグラフ化を行う。グラフには、円グラフ、棒グラフ、線グラフなどがあるので、特徴を一番表すものを採用する。

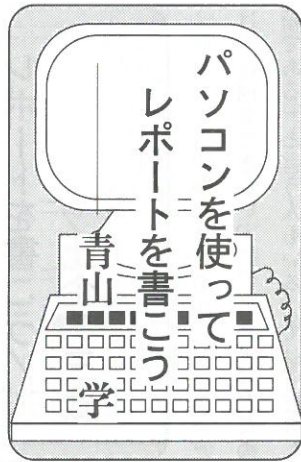
数値計算を行う卒業論では、自分でプログラムを作成し、計算を行う。プログラムは、BASICやCといった言語で作成される。このプログラムを説明するときに、フローチャートを描く。これには図形ソフトを使用する。入出力、処理（計算）、判断、繰り返しと云った記号を呼び出し、拡大して流れ図を描いていく。これらの一部を図に示す。

このようなソフトの中で、一番使用時間の長いのは、ワープロソフトである。ワープロで作成した文書は、修正や挿入などが



簡単に出来るので、レポートを作成するときには、大変活躍する。ワープロソフトと共に表計算ソフト、図形ソフトを併用すると素敵なレポートができる。皆さんも大いに、パソコンとソフトを活用し、レポートを作ってください。

(ひき・さんぞう 工学部講師)



レポートを書く時に何を使って書いていますか。手書きかワープロという人が大多数でしょう。でもワープロではできない事がパソコンを使えばできてしまいます。では何ができるのでしょうか。実は結構なんでもできてしまうのです。これを読んで「パソコンってすごい！」と思って下さい。

1 ワープロな使い方 パソコンというのはワープロよりすごいです。パソコンの持つ機能の中には、ワープロでは自分で書

かなければならない目次、索引おまけに脚注を簡単に書いてくれる機能や、図形・数式を書いたり写真や画像を取り込んだりする機能、英文のスペルチェック、文法チェックを行ってくれる機能等があります。勿論すべてのパソコンができるのではなく、それぞれの専用のアプリケーションソフトが必要になります。だったらワープロで十分だと言う人もいるでしょうが、その通りだと思います。でもワープロは機能の拡張ができないけど、パソコンは必要に応じて音楽を鳴らしたりもできるんです。すごいですよ。

他にも表計算ソフトやグラフ作成ソフトなんてのもあります。これらのソフトは作表や集計を行うだけでなく、分析や検索もやってくれます。我々はデータを入力してグラフ作成のメニューを選ぶだけでいいのです。当然ですが、表計算ソフトは表計算が得意で、グラフ作成ソフトはグラフ作成が得意です。操作が難しいけど、これはちょっとと思う表やグラフを綺麗に描いてくれます。

2 翻訳支援ソフト 英語から日本語、ま

たはその逆の翻訳を行ってくれるソフトです。これで英語の文献の翻訳だって楽々です。時には間違った訳をしたり、ちょっとしたニュアンスは人間が手を加えなければなりません、便利である事は間違いないようです。

3 シミュレーションソフト パソコン上で様々な事象についてシミュレートするソフトです。データさえあればどんな事象についてもシミュレーションは可能です。例えば髪型を変えるような日常的な実験から、核実験のように非日常的な実験を手軽に行えます。

4 CAD CADというのは、パソコン上で製図を行うソフトです。機械の設計や建築、デザインなどに使います。このソフトは何が便利かというと、普通失敗すると全部描き直ししなければならないところを、CADを使えば失敗してもやり直せるのです。かなり無謀な挑戦でも駄目なら、自分の納得のいくまで何度でもやり直せます。これがパソコンの良いところです。

5 インターネット 最近、あちこちで話題になってるインターネット。これは本当

にすごいです。パソコンの前に座ってるだけで、欲しい情報が手に入ります。図書館に行かなくても欲しい文献が読めるし、気になる天気の状態、野球やサッカーの結果、ついでに訳の分からない情報が得られます。操作もいたって簡単、パソコンの画面上の欲しい情報のところをマウスでクリックするだけ。見るだけじゃつまらないという人は、自分で情報を発信する事もできます。

6 おわりに レポートを書くには情報は多い方が、より内容のあるものを書くことができます。パソコンを使えば、情報を集め、そのデータを集計・分析し、結果をまとめると言う一連のプロセスをすべて引き受けてくれます。しかしソフトがなければ何もできないという事も忘れないで下さい。最後にパソコンのすごさは実際に体験しないと解らないので、チャンスがあれば試してみてください。

(あおやま・まなぶ 大学院工学研究科博士課程)

図書館アラカルト

〈朝霞〉

▽高校生に図書館を開放！

朝霞分館では、今年も夏休み中に、近隣の高校生への図書館開放を実施しました。期間は7月27日～8月31日まで。

平成三年に開始され五年目、今後も地域開放への一端をになって続ける予定です。

〈工学部〉

▽図書館2Fに軽読書を移動！

視聴覚室にあった軽読書を図書館2Fに移動しました。OPACで検索できるように作業を進めているところです。どうぞご利用下さい。

▽大学祭期間中の閉館について

〈白山・朝霞〉

11月16日(木)～20日(月)閉館。

〈工学部〉

11月9日(木)～13日(月)閉館。



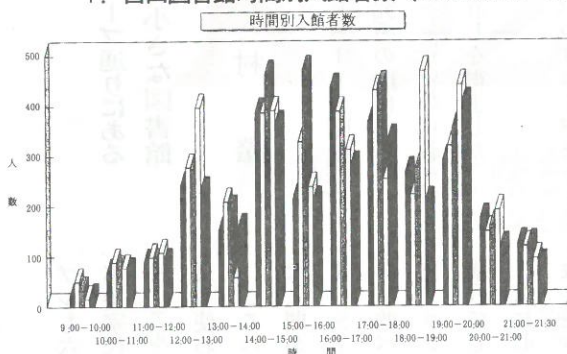
I. 蔵書

図書所蔵冊数 (1995. 3. 31現在)

白山	朝霞	工学部	合計
606,099	181,067	136,865	924,031

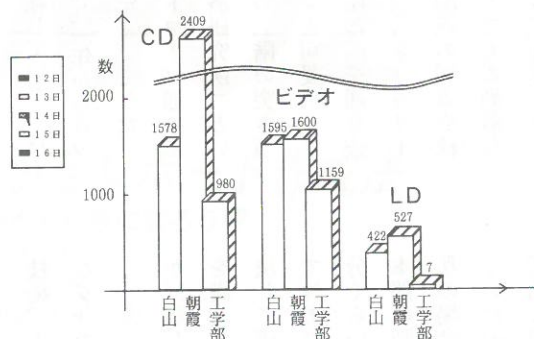
II. 入館者

1. 白山図書館時間別入館者数 (1995. 6. 12~16)



IV. 視聴覚資料

1. 視聴覚資料所蔵数 (1995. 3. 31現在)

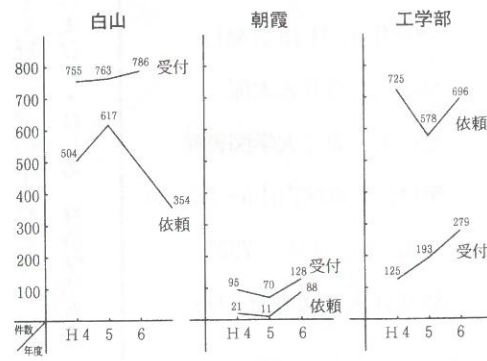


2. 新規購入資料 (1995年度)

- <CD>
- Baby Faith 朝
 - アトミックハート ①
 - 極東サンバ 白
- <ビデオ>
- WINDOWS 白
 - ドリーム・チームII 勝利への道 朝
 - ピアノレッスン ①
- <LD>
- アース・ウィンド&ファイヤー ①
 - 今そこにある危機 朝
 - スピード 白朝

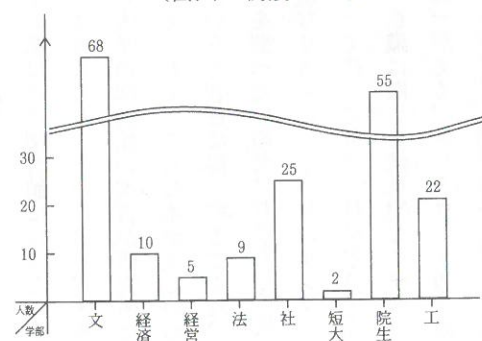
V. 相互協力 (1994年度)

1. 他図書館等との文献複写協力



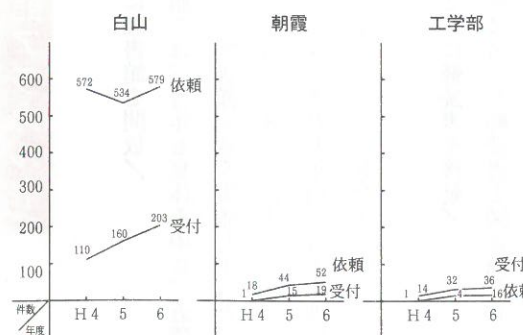
III. 学生購入希望 (1994年度)

学生購入希望図書 学部別申し込み延人数 (白山・朝霞・工学部の合計)

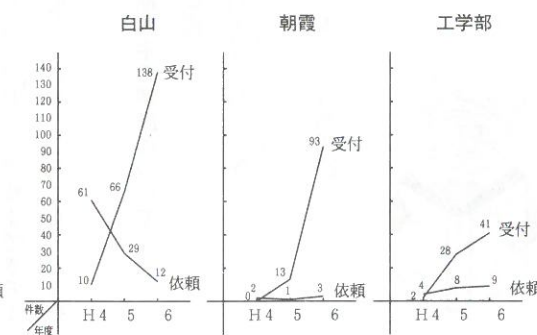


V. 相互協力 (1994年度)

2. 他図書館等との閲覧協力



3. 他図書館等との図書の貸借受協力



図書館の仕事から ~1994~1995~

VI. 雑誌

1. 継続受入タイトル数 (1995. 3. 31現在)

白山	朝霞	工学部	合計
5,512	1,282	1,352	8,146

2. 1995年度 新規購入雑誌から

- <工学部>
- JOURNAL OF PHOTOCHEMISTRY AND PHOTOBIOLOGY
 - REVIEW OF SCIENTIFIC INSTRUMENTS
 - SPECTROCHIMICA Acta B
Atomic Spectroscopy
- <朝霞>
- 芸能史研究
 - GEO
 - 鳩よ!
 - 邦楽と舞踏
 - TOUCHDOWN
- <白山>
- 東亜日報
 - 週刊朝日 etc.

VII. その他のサービス

1. 1994年度 展示

- <白山>
- 東洋大学の出版物
 - 芭蕉没後300年
 - 富士山・富士山講
- <朝霞>
- 図書館を使い易くする本
 - 本学OBの著作物
 - 旅にでよう~海外編~
 - AIDSを考える (学生団体イベントとの提携)

2. 利用者教育 (1995. 4~11月)

- データ・ベース検索テク 白
- 電動書庫探検 白
- こんな資料知っている? データ・ベースだけじゃものたりない。マニアックにいてみよう。 白
- 図書館学専攻学生対象端末実習 白
- 10月入学生対象図書館ガイダンス ①
- 新入生対象図書館ガイダンス 朝

3. 映写会

朝霞分館 1994年度 年63回開催

※白-白山、朝-朝霞、①-工学部

外国の図書館シリーズ —その14—

アントワープ通りにある 研究所の小さな図書館

今村 肇

今回のレポートは図書

館の話ではありません。研究所の中にある「図書室」の話です。それでもいいからお願いますと、担当者のお許しを得ましたので、書くことにします。

私がフランスのルイ・パスツール（ストラスブル第二）大学に滞在していたのは、モーツアルト・イヤーの一九九一年からロッシニ・イヤーの一九九二年まででした。そのストラスブル、アントワープ通りにあるBETA（理論応用経済研究所）という大学付属の研究所の建物の二階の突き当たり、美しいクリスティーンと可愛いサンドラの二人の秘書がいる部屋の前を通り抜けた、廊下のその先が研究所のライブラリーになっていました。経済学関係の図書や統計資料が、フランスらしくとてもお洒落な本棚の中にいろいろと収まっています。テ-

ブルも六角形のちよっとお洒落なもので、応接室代わりになったり、学期の終わりは、アルザスワインを飲みながらのパーティーにも使われてました。

この収書は、きわめてオーソドックスな入門から上級までの経済学の文献とEUROSTATやOECDなどの基本的な統計が並べられていて、それにこれまでの研究プロジェクトの報告書や出版物といった構成でした。

なにしろ、この建物の地下一階地上四階までをマクロ経済学、数理経済学から先端技術、人的組織や教育訓練まで、さまざまなジャンルにおよぶ教育・研究スタッフと二〇人くらいの博士論文作成中の大学院生が同居しているのですから、すべての要求を満たすわけにはいきません。私の場合も、決して研究所の図書室に満足していたわけではありません。そうすると、歩いて十五分くらいのエスプラナード地区にある大学本部の図書館に行かなくてはなりません。私の場合は客員教授という肩書きをもらっていたので、ほとんどフリーパスでこの図書館を利用出来たのですが、いちいち往復

するのはちよっと面倒です。

でも、幸い私はその図書館にはほとんど行かなくてすみました。というのも、イザベルという大学の図書館の司書が研究所に駐在していてくれて、こんな本が欲しいのだけれどという翌日に持ってきてくれ、こんなことを調べたいのだけれどといえば、今度は完璧なリストといくつかのサンプルコピーを作って持ってきてくれたからです。

このプロ意識に徹した献身的なイザベルの「図書館」がある、アントワープ通りの研究所は、ハードと人間が絶妙に調和した、まさにヨーロッパの首都ストラスブルにふさわしい経済研究の中心なでした。

（いまむら・はじめ 経済学部教授）

KOΣMOΣ (No.111)

1995年11月15日発行

発行人：今井光太郎

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7327

© 東洋大学図書館 1995